議会運営委員会会議録（要旨）

日 時	令和7年3月14日（金） 午前10時00分～午前11時48分
場 所	長久手市役所本庁舎 2階 委員会室
出席委員	委員長 大島令子 副委員長 田崎あきひさ 委 員 岡崎つよし 川合ともゆき ささせ順子 富田えいじ 野村 弘 山田かずひこ
職務のため出席した者の職氏名	市 長 佐藤有美 総務部長 加藤英之 次長 福岡隆也 行政課長 山田美代子 財政課長 井上隆雄 議 長 木村さゆり 委員外議員 なかじま和代 山田けんたろう わたなべさつ子 事務局長 横地賢一 議事課長 福岡弘恵 議事係長 村瀬紗綾香

1 あいさつ
議長
市長

2 議題

(1) 令和7年第1回長久手市議会定例会について

ア 市長提出議案について

＜説明：総務部長、行政課長、財政課長＞

・追加議案第29号～第31号

(岡崎委員) 議案第29号について、国の地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金（二次協議分）で、二つの認知症グループホーム事業所の老朽化に伴う大規模修繕に対して補助金を交付することのことだが、対象の事業所はどこか。

(財政課長) 「よろこんぶ」と「サポートハウス東名ながくて」である。

(委員長) 説明のとおりの内容でよいか。

＜異議なし＞

＜市長、総務部長、総務部次長、行政課長、財政課長退席＞

イ 議員提出議案等について

・修正案第1号 議案第2号 令和7年度長久手市一般会計予算に対する予算決算委員会修正案

(山田委員外議員（予算決算委員長）)

一昨日の予算決算委員会で、議案第2号に対する修正案が提出され可決した。

本会議最終日に、予算決算委員会からの修正案として修正案第1号を提出する。

- ・発委第4号長久手市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例について
- ・発委第5号長久手市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例について

(委員長) 条例改正について、この内容で議案として提出してよいか。

<異議なし>

(委員長) 委員会付託省略としてよいか。

<異議なし>

ウ 議事日程(第7号)について

<事務局説明>

- ・日程第1 諸般の報告
議案の提出について
- ・日程第2 議案第29号から議案第31号まで
(議案の上程、提案者の説明、議案に対する質疑、委員会付託)
- ・日程第3 議案第2号から議案第20号まで、議案第22号から議案第31号まで
(委員長報告、委員長報告に対する質疑、討論採決)
- ・日程第4 発委第4号及び第5号(議案の上程、説明、質疑、討論採決)

(委員長) 説明のとおりの内容でよいか。

<異議なし>

(委員長) 委員会付託議案について、付託表のとおりとしてよいか。また、議案第29号については、分科会に送付せず予算決算委員会で審査することとしてよいか。

<異議なし>

(2) 今期の議会運営委員会のまとめ

(委員長) 今期は、議会基本条例や常任委員会の所管バランスについて協議し、今定例会で議案を提出して条例を改正することができた。

次期の議会運営委員会への申し送り事項について、意見はあるか。2月18日の委員会では、現在貸与されているタブレット端末のリース期間が令和9年1月に終了するので、その後どうするのかについての検討が必要であるとの意見が出た。

(公明党) タブレット端末については議員それぞれ使い方が違うと思うので、使用状況を調査した上で精査する必要がある。

(みらい) 特に意見はない。

(ながくて) 議会運営委員会の開始時間を、午前10時から午前9時30分に変更することを検討してほしい。

(香流) 会派ながくてと同じ意見である。

(無会派の会)

今挙がっている事項に同意見である。

(わたなべ委員外議員)

私は、委員会に出席する前にいろいろと調べていくことができるよう、開始時間は現行の午前10時でよいと思う。

(委員長) タブレット端末の件は検討すべき事項として次期の委員会に申し送り、委員会の開始時間の変更については、出た意見として伝えることとする。

(3) moreNOTEによる議案配付の取扱いについて

(委員長) 議案第21号が撤回された翌日、同議案のデータがmoreNOTEから削除された件を受け、ダウンロードや紙印刷をせずmoreNOTEだけで議案の管理をしているなかじま和代委員から、本委員会にて発言したいとの要望があった。委員外議員としての出席を認めたいがよいか。

<異議なし>

委員外議員として、なかじま和代議員の出席を認める。

まず、なかじま委員外議員から話を伺う。

(なかじま委員外議員)

議案第21号が撤回された後、議長や議会運営委員長への確認もなくmoreNOTEから議案データが削除されたことは、データ管理に対する信頼性を損なう行為であり、重大な問題である。事前の説明もなく削除されたことで、議案データだけでなく、moreNOTE内に書き込んだ自分のメモも同時に消去されてしまった。これを機に、次の対応が必要だと考え、提案する。

- ・定期的なバックアップを実施し、万が一のデータ消去時には迅速に復元できる体制を整えること。
- ・削減権限の厳格な管理とログの記録を行うこと。
- ・システム障害時にも資料にアクセスできるよう、オフラインでの閲覧環境を整備すること。
- ・不正アクセスや情報漏えいを防ぐため、セキュリティを強化すること。

私はペーパーレス化を推進してきたが、これらの課題が解決するまでの間は紙の資料の方が信頼に足るのではないかと思う。

(委員長) moreNOTEから議案第21号のデータを削除した経過を、事務局から説明願う。

(事務局) 本会議で議案第21号が撤回され、議案を回収するという意味でmoreNOTEから議案を削除した。メモを書き込んでいる議員もみえる中、事前告知をせず消去したことは、事務局として配慮が足りず、拙速な行動であった。

(なかじま委員外議員)

moreNOTEには簡単なパスワードでログインしており、自分のデータが誰かに改ざんされ、他の議員が見ているものと違っているかもしれないという不安がある。また管理者が、故意でなくても操作ミスで削除してしまうというこ

とも、今後あり得るかもしれない。データのバックアップと復元できる体制は、少なくとも強化してほしい。

(わたなべ委員外議員)

私はいつも、議員に配付される議案のデータと、市民向けに市のホームページで公開される議案の両方を確認しているが、途中で自分のデータが外部からの不正なアクセスによって改ざんされるようなことはなく、信頼感を持っている。

(副委員長) セキュリティの強度の問題なのか、人災なのかは別として、間違いが起きるかもしれないことは念頭に置いておく必要がある。

(岡崎委員) 事務局がmoreNOTEから勝手に議案を削除したことは大きな問題であり、二度とあってはならない。削除した議案のデータやメモ書きは復元できるのか。

(事務局長) 議会事務局に配属されて3年目になるが、議案が撤回されたのは初めてのケースで、「撤回」という言葉に過敏に反応してしまい、議案データを削除した。moreNOTEへのデータの格納や削除という物理的な作業自体は、議会事務局の職員に操作権限を持たせて行えるようにしている。

(委員長) 議案データを再格納してもメモ書きは戻らないので、大変なことである。

(山田委員) 大体の経過や状況は分かったが、今後はどのようにしていくか。撤回された議案のデータも、撤回されたことが分かるように残しておくのか。また、その議案が再上程されるときにも、撤回された議案を残したままにしておくか。

(なかじま委員外議員)

いくつかの他市議会の状況を伺ったが、撤回ではなく軽微な修正であっても、修正前のものを削除することなく、修正後のデータをペーパーレス会議システムに上げているという市議会が多かった。

予算書・決算書については今でも半数を超える議員が自身で印刷をしており、非効率だと感じている。

(富田委員) 今後の対応を話し合うべきである。なかじま委員外議員が冒頭で必要な対策として提案されたことは、解決できるか。

(事務局長) 資料のデータ化・ペーパーレス化が進むことで、紙の削減や効率性が増すといったメリットがある反面、指摘されているようなデメリットも、今回の件以外でも課題としてはあると思う。

moreNOTEのデータの管理体制やバックアップの状況については、今後確認をした上で、その体制でよいかどうか議論していただくことになる。データの格納や削除といった物理的な作業の操作権限は議会事務局の職員のみとなっており、システムを導入する前は紙の資料をどのように扱っていたかを含め、事務局内で整理が必要と考えている。通信環境については、議会エリアには議会用のWi-Fi環境を整備しており、現在はSIMカードも入っているので、議会エリア外でも自動的に切り替わって通信できる状況ではあると思う。確かに繋がりづらいときもあるが、解消方法の検討の必要性はその度合いにもよると思う。セキュリティについては、ソフトを更新して最新の状態

を保っているが、サイバー攻撃に備え今以上のセキュリティ対策ができるのかどうかは分からない。課題が解決するまでは紙の資料がよいのではないかとのことだったが、議員全員の協力でペーパーレス化を進めることができている、ペーパーレスを基本として考えていきたい。

(委員長) 議案第21号が撤回された2月21日、議案のデータは削除されたが、総務くらし建設委員会の付託表には議案第21号が残っていた。整合性が取れていない。

(事務局) 2月21日の当日、執行部側で議案第21号の撤回の意向が決まった後、本会議が再開する前に付託表のデータは差し替えを行った。議員各位のmoreNOTEのデータ更新のタイミングによっては、差し替え前のデータが映し出されていた可能性はある。

(委員長) 暫時休憩とする。

<休憩：午前11時05分>

<再開：午前11時20分>

(委員長) 休憩前に引き続き、会議を再開する。

(野村委員) データを削除すること自体は、誤ったものを残しておかない方がよいという考え方もあるので、そんなに大きな問題ではないと思う。ただ、その手順が今回は適切でなかった。今後、どのように対応するのがよいかをまとめていただきたい。

(副委員長) 議案が撤回された場合、完全にデータを削除するのではなく、撤回されたことを明記する形で残すのがよい。

また現状、市ホームページでも議案第21号については「欠番」とだけ記載されているが、どのような議案が撤回されたのか、市民にも情報を公開していくのが望ましいと考える。議長から執行部に申し入れをしてほしい。

(岡崎委員) 副委員長の意見に賛成である。

(なかじま委員外議員)

撤回ではなく、議案の修正があった場合、moreNOTE上のデータは議員に通知された上で差し替えが行われている。しかし市ホームページの議案のページのデータは、修正があったことの周知がされないため、いつデータが差し替わっているか分からない。各定例会・臨時会に提出される議案については、市議会ホームページから市ホームページの議案のページにリンクして見られるようになっているため、市民も正しい情報が得られるような運用をしてほしい。

(委員長) moreNOTE上の議案のデータは議員自身のものなので、撤回や修正がある場合は、そのデータの取扱いを決めるための議会運営委員会を開くべきであると思う。ただ軽微な修正の場合もあるので、どの程度までとするかも考える必要がある。

市ホームページの運用方法については、市が管理しているものなのでこの場で決められないが、moreNOTE上のデータの取扱いについてはルールを決めたい。

(山田委員) 先ほど副委員長から、議案が撤回された場合のmoreNOTE上のデータの取扱いとしては、撤回されたことが分かるようにして残すという意見があり、そのようにまとめたのではないか。

(議長) 副委員長の意見は、撤回された議案のデータをどのように取扱うかについて、その都度議会運営委員会を開いて決めるのではなく、「撤回」と分かる形にして残すこととしてはどうかという意見であったと思うがどうか。

(副委員長) そのとおりであり、議案の撤回を認めるか認めないかを協議する議会運営委員会の開催は必要なプロセスだが、議案データの取扱いを決める委員会の開催については別の話である。議案の軽微な修正については、現在も修正箇所を明らかにした正誤表などで通知された上でデータの差し替えが行われているので、運用としては問題ないと思う。

(なかじま委員外議員)

議案のデータだけでなく委員会等で執行部から提出された資料についても、委員長が言われたように、手書きのメモも含め「自分のもの」という認識を強く持っている。慎重に取り扱ってほしい。

(委員長) 撤回の場合と修正の場合を分けて整理する。

撤回の場合は、議会運営委員会で撤回について諮る際にその理由も明らかにし、「撤回」と分かる形にしてmoreNOTE上に残すこととしてよいか。

<異議なし>

(委員長) 修正の場合は、desknet'sNEOでまず修正点について通知し、全議員の了承が得られたらmoreNOTE上のデータを差し替えることとしてよいか。

(岡崎委員) desknet'sNEOの電子会議室は、今まで常任委員長が何度か投稿をしているが、委員からの反応がとても少ない。反応がない委員は了承と判断してよいのか、分からないのではないか。

(事務局) desknet'sNEOの回覧・レポートであれば、通知の開封状況が事務局で把握できるので、未確認の議員に連絡して確認を促すことができる。また、通知にメッセージを入れて返すことができるので、もしデータの差し替えに反対意見等がある場合は入力していただければ、全議員の了承が得られないことを事務局から改めて周知することもできる。

(委員長) 議案の修正の場合は、事務局提案の方法で対応することとしてよいか。

<異議なし>

3 その他

(委員長) 次回、令和7年5月1日(木)午前10時からの議会運営委員会が、今期最後となる。1年間、委員会の運営に協力いただき、感謝する。

以上で議会運営委員会を終了する。